

# 北のふれ愛



## アルテピアッツァ美唄

美唄の中心部から車で約10分、市の東部に位置する「アルテピアッツァ美唄」は、約2万㎡の広さを有する芸術文化交流施設です。

アルテピアッツァは、イタリア語で芸術広場という意味。その名のとおりに、緑豊かな自然の中には美唄出身の世界的彫刻家・安田 侃<sup>かん</sup>氏の作品が数多く展示されています。木立が縁どる芝生広場には、白大理石やブロンズによる八点の野外彫刻があり、四季という時の流れの中で独特の空間をつくりだしています。その中の「水の広場」には、イタリアの白い大理石でつくられた「水のステージ」、丸石が敷き詰められた流路があり、子供達が水遊びを楽しみます。その子供達が手にふれ足で踏む丸石は、かつてミケランジェロが切り出した石切場から取り出されたものです。

美唄の  
まきは  
天下晴れて  
アルテピアッツァを  
内に蔵し  
アツキツツアは  
ひそかにあまねく  
美唄のまきは  
天下に滲透  
させる  
大田信

敷地内の廃校となった小学校の体育館は、外見はそのままにアートスペースに姿を変えました。そこには、安田氏の13点の作品が常設展示されています。また、ピアノ発表会、市民サークル活動、さらには邦楽、ジャズやクラシックなど国内外の一流アーティストのコンサートも開催されるなど、文化の発信広場として親しまれています。

新緑の香るこの季節、小川のせせらぎを聞きながら、自然の中に置かれた彫刻めぐりを楽しんでみてはいかがでしょうか？

(松谷昭子記)

住 所／美唄市落合町栄町

T E L / 01266-3-2082



## 美唄にもダムが

美唄にもダムがあるので。

アルテピアッツァから道道美唄富良野線に車を進めて、右手に元炭鉱の山並みを見ながら秋には絶好の紅葉のなかを、さらに進めて約15分のところに道内4番目のダムとして昭和57年に完成、ダムは生活に欠かせない役割を持って、幅広く利用されている多目的ダムであります。夏には「びばい湖ダムまつり」が開催され、子供たちの夏休みの行事としてふれあい釣り大会、化石探索会、放流されるスチールヘッドのつかみどり等々市民が参加して楽しんでおります。

道道美唄富良野線は数年後には芦別に通じるよ

うになり、大変便利になるということです。

(宝崎幸子記)

